

令和6年 第2回ボランティア交流会 報告

茅野市こども読書活動応援センター 名取

- 📅 日時：令和7年2月22日（土）13：30～15：30
- 📍 場所：ゆいわーく3階
- 👥 参加者：19名 内訳 一般参加者：1名（学生）
読書ボランティア：10名
読りーむ in ちの：2名（ボランティア活動者除く）
図書館長・学校教育課・生涯学習課 6名

📖 始める前に・・・手あそびしてリラックス♪

♪きゃべつのなかから 作詞・作曲者不詳 著作権フリー

(広島女学院大学人間生活学部 児童教育学科ニュースより)

『キャベツくん』文・絵：長 新太 文研出版

博報堂文庫にある絵本『キャベツくん』の紹介をしながら、昨今のキャベツの高騰にかけてキャベツの手あそびを紹介しました。

♪キャベツのなかから 青虫でたよ ○○

○○のなかには、によきによき？ ピッピッ？

手あそびは、伝わり方で言葉や音程が少しずつ違うので、参加者の皆さんと相談して、今回は「ピッピッ」で遊びました。

最後は、青虫がちょうちょになって、皆さん、にっこり。

これからの季節にピッタリの手あそびです。



📖 話題Ⅰ コロナ禍以前と以後で活動に変化はありましたか？

- ・コロナ禍、学校がお休みになり読み聞かせもお休み。
学校が再開しても、読み聞かせ再開のお知らせがなかった。
 - ・担当の先生と連絡を取り合って再開したところもある。
 - ・学校が再開したが、感染対策のため「放送」での読み聞かせの依頼があった。
「子どもと目を合わせてやりたい」という思いを伝えて、お断りした。
自宅からの配信で行っている人もいます。
 - ・先生たちも変わってしまって、コロナ以前のやり方がわからない。
再開しても、未だに椅子に座って自席で読み聞かせを聴く学校もある。
- ↓
- ・旧家庭教育センターでは、アクリル板を使って感染対策をしながら、対面のおはなし会を実施していた。

- ・学校では、少しずつ対面に。でも、しばらくは子どもたちは自席＋タブレットで読み聞かせを聞いていた。＝ タブレットはお休みの子どもも参加できるメリットがあった。
この形は、子どもの反応がわかりにくい。
- ・コロナ明け、保育園での経験のない子どもたちが小学生になり、様子がわからないようだった
- ・この2～3年の空白が与える影響は大きい
手あそびを知らないお母さんたちがいる。簡単なものを2～3回続けてやって、やっと楽しんでもらえるようになる。

・園や学校との連絡の取り合いを大切にしたい。

連絡の取り方は、ボランティア組織、学校によって異なる

例) *每学期、校長・教頭・担当職員・ボランティアメンバーと懇談を実施

*年1回、3月に校長・教頭・担当職員・ボランティアメンバーで振り返りを実施

*年度初めに1回、校長・教頭・担当職員・ボランティアメンバーと懇談を実施し、
年度末のまとめの会は、ボランティアの代表がメンバーのアンケートを集約して
学校に伝える

毎回の読み聞かせの終了時、部屋を借りて振り返り。そこに学校職員が同席する
学校との懇談が、実施できていないという学校もある

・より楽しい読み聞かせになるように、努力と工夫って大切。

・読み聞かせでは、子どもを目の前にして、息づかいを感じたい。

□□ 話題2 特別おはなし会 どうしてですか？どんなことをやっていますか？

著作権への配慮は？

- ・年に一度、『おはなしのへや』 6年生対象に実施

『あらしのよるに』 作：きむらゆういち 絵：あべ弘士 講談社

『あるはれたひに』 作：きむらゆういち 絵：あべ弘士 講談社

プロジェクターに映して読みたい ⇒ 著作権の申請をしてやろう

- ・講談社に申請 → きむらゆういちさんの許可をとること

☞ 上演の様子の画像を送付することを条件に
無料での上演許可

- ・子ども読書の日に 特別おはなし会を実施
ハンドベルを演奏し、参加した赤ちゃんがとても喜び、新聞の記事にもなった
でも・・・『絵本が主役なのに』コンサートのようになってしまった…

- ・「なにか特別なことを」と思ってしまう。

公民館では、鍵盤ハーモニカを使って音楽を入れてやったこともあるが…

・おはなし会に参加した子どもたちは、どうとるのかな？

私たちがやっているのは「ことばによる心育て」

長い目で見て、「楽しい」とは？

イベントやショーというのではなくて、ことばを通じて作者の思いを受け止めたい。

それが、いつか、こどもの力になれば…

- ・著作権に関する情報は、応援センターから発信する

- ・永明小学校・中学校のメディアセンターに、ボランティア団体の手作りのペープサートなどが保管されている。先生方が授業で使うのは可能。

□□ 話題3 活動費はどうしていますか？

- ・年会費を徴収（500円・2,000円）
- ・助成金を申請
- ・インク代、紙代は個人持ち。
- ・メンバー間の連絡はlineグループ
- ・印刷は、学校に依頼 … 学校では、コミュニティスクールの予算から
学有林・PTAなどの特別会計から 等
- ・こども館は、こども館もち
- ・子どもゆめ基金を活用した
(令和7年度子どもゆめ基金助成活動の一次募集は締め切りました)

□□ 話題4 活動メンバー増えていますか？ 募集方法は？

- ・あの手この手でプリント配っても
増えなくて…
- ・学校☞来入見の説明会でPRした
地域の方から電話があったり
見学に来る人がいたりした。
- ・保育園☞読み聞かせに行ったときに
紹介をした
- ・中央公民館のお誘いプリントを見て
来てくれた人がいた。
- ・仕事や子どもの送りに間に合わない
から無理という人もいる



- ・『見学に来てください』と誘うのが有効かも。

3 感想用紙より

<全体を通して>

- ・参加人数は少なかったが、今まで話題に出ていなかった著作権について話し合いができた
り、読み聞かせの原点を確認できたりする会になって良かった。
- ・いつもと異なる形式の会だったが、たくさんの皆さんの声が聞けて有意義に感じた。
- ・学校の読書ボランティアの方々のご意見や問題点が伺えてよかった。
- ・幅広く、いろいろなお話が聞けて良かった。
- ・他のボランティアグループのお話が聞けて良かった。それぞれに悩みがあるのだな。
- ・ボランティアさんのおもいがよく分かり、一生懸命な姿がよく分かった。
- ・いろいろな活動をされている皆さんと交流できて、とても楽しかった。
学ぶことができ、活動に生かせそうです！
- ・具体的な事情がいろいろ聞けて良かった。
- ・全体での情報交換が活発にでき、とても参考になり有意義な時間になった。楽しかった。
- ・今後の活動の参考になる話が聞けて有意義だった。
- ・興味深いお話をたくさん聞くことができ、よい経験になった。これをきっかけに、活動
していけたらと考えている。(学生)
- ・新しく、興味のある若者が参加してくれてうれしかった。

<著作権について>

- ・難しいですね。(ボランティア)
- ・大切なので、市内全ボランティアが認識する必要がある。各グループのリーダーを通じてでも、伝えてほしい。
- ・本当にわからなくて、少しでも煩わしさが減ればと思う。
- ・整理して、示してもらえるといいですね。

<特別おはなし会>

保育園では、3月に年長さんのみ大型絵本、パネルシアターで楽しめます。

<今後のボランティア交流会について 要望・意見など>

- ・何十年もボランティアをしている人向けに、交流会をしていただけたら…。
- ・著作権の話は、できれば研修会という形で、(半)強制的に説明した方がいいのではないかな。
- ・本の紹介、読み聞かせの実践も含めてやったほうが集まるかな。
- ・絵本を持ってきて話し合いをすると、勉強になる。
- ・今日のような会が年一回あってもよい。

